



ゆめーる・かほく【小学校版】

せせらぎ

鹿北小学校便り

第4号

令和5年7月

文責 鶴田 史子

「平和のバトン」を受け継いだ修学旅行（6月29日～30日）☆6年生☆

6年生21人は、6月29日（木）30日（金）の一泊二日で、長崎・佐賀へ修学旅行に行きました。私も、数十年前に長崎に修学旅行に行きましたが、小学校の修学旅行の思い出は、大人になった今でも心に残っています。一生の思い出となる修学旅行に向けて、学級では、約1ヶ月の期間、修学旅行の目的を確認してめあてをきめたり、活動班や部屋割り、バスの座席をきめたりして、修学旅行当日を迎えました。

全員そろって、二日間しっかりと学ぶことができました。ずっと雨具が手放せなかったものの、雨に降られたのは、最後の吉野ヶ里歴史公園の見学時のみでした。なんどもガイドさんや添乗員さんから、「ついでますね」と言われるほどで、十分に歩いて見学することができました。

修学旅行の最大の目的である平和の尊さを知ること、戦争のない平和な世の中にするためのバトンを受け取ることができ、一人一人が平和への誓いを心に刻むことのできた修学旅行でした。



二日間で学んだことは、一人一人の胸にしっかりと刻まれたことと思います。

集団宿泊教室（7月18日～19日）☆5年生☆

5年生18人は、7月18日（火）19日（水）に菊池少年自然の家で集団宿泊教室を行いました。修学旅行もそうですが、集団宿泊教室もずっと思い出に残る行事の一つです。家族から離れての宿泊体験が初めてという子も多いと思います。5年生は、集団宿泊教室に向けてめあてを「心を一つに！一人一人が輝く2日間にしよう！！」と定め、その達成に向けて事前の準備をすすめました。班決め、係決めにも時間をかけて、一人一人が自分の役割をきちんと果たせるように準備をして、当日を迎えました。

まず、自然の家に行ってすぐに、「あいさつが素晴らしい」とお褒めの言葉をいただき、その後も、職員の方々から、挨拶だけでなく、態度も立派だったことを褒めていただきました。日頃から、学校でできていることが学校の外でもできることはとても素晴らしいことです。そして、5年生のめあてである心を一つにした姿が、あらゆる場面で見られた二日間でした。6年生とともに鹿北小学校のリーダーとして、委員会活動や縦割り班活動で手本となる姿を見せてくれている5年生。これからも、きっと活躍してくれることと思います。



☆水泳指導ありがとうございました☆

6月のプール開きから約1ヶ月半、「水遊び」「水泳」の学習を行いました。今年は、山鹿市教育委員会の中島さやか先生に週に2回ほど水泳の指導に入ってくださいました。また、6月26日には、城北高校の3年生が水泳指導のお手伝いに来てくれて、子どもたちと一緒にマンツーマンで指導をしてくださいました。

多くの子どもたちは、プールで泳ぐことが大好きです。しかし、中には苦手な子もいます。一緒にプールに入って手をとってもらえると安心です。「自分の命を守る」ためには、水に浮く感覚を身に付けておくことも大切です。この夏休み、ご家族でプールや海、川で遊ぶ計画をされているかもしれません。命を守るため、安全に泳ぐ力がどれくらい身に付いているか、ぜひおうちの方もお子さんの泳ぐ姿を見てあげてください。その際には、川や海の事故には十分にお気を付けください。

